

国内石油元売り初、ポジティブ・インパクト・ファイナンスを実行
～三菱 UFJ 銀行と契約、JCR による第三者評価を取得～

コスモエネルギーホールディングス株式会社（代表取締役社長：山田 茂、以下「当社」）は、株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員：半沢 淳一、以下「三菱 UFJ 銀行」）との間で、国内の石油元売り会社として初めての取り組みとなるポジティブ・インパクト・ファイナンス（以下「本ファイナンス」）の融資契約を 2026 年 3 月 31 日に実行しました。

ポジティブ・インパクト・ファイナンスは、国連環境計画金融イニシアティブ (UNEP FI) ※1 が提唱する「ポジティブ・インパクト金融原則」※2 に基づき、企業の事業活動が環境・社会・経済に与える影響を包括的に分析・評価し、ポジティブなインパクトの創出およびネガティブなインパクトの低減に向けた取り組みを継続的に支援することを目的とした融資手法です。当社グループではこれまでもサステナビリティ・リンク・ローン等のサステナブルファイナンスを活用してきましたが、ポジティブ・インパクト・ファイナンスの導入は国内の石油元売り会社として初めての取り組みとなります。

当社グループは、「エネルギーの安定供給と脱炭素社会の実現の両立」を重要な経営課題と位置づけ、エネルギートランジションを見据えた事業展開を進めています。本ファイナンスは、三菱 UFJ 銀行が構築した評価フレームワークに基づき、当社グループの事業内容およびサステナビリティに関する重要課題を踏まえ、インパクトの特定および整理が行われています。当該フレームワークには、評価にあたっての基準や体制等が規定されており、株式会社日本格付研究所（「JCR」）より、国連環境計画金融イニシアティブによる「ポジティブ・インパクト金融原則」に適合している旨の第三者評価を取得しています。

当社は引き続き、サステナブルファイナンスの活用を含め、持続可能な社会の実現と企業価値の向上に取り組んでまいります。

《本ファイナンスの概要》

契約締結日	2026年3月31日
貸出人	三菱 UFJ 銀行
資金使途	事業資金

本ファイナンスの締結にあたっては、当社の重要課題を中心に設定した KPI について、特に SDGs の目標達成に対しインパクトを与える活動として各テーマについて評価されました。

テーマ	目標とモニタリング項目 (KPI 等)
グリーン電力の提供	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 風力発電設備容量：1,500MW 超（2030 年度） <p>【モニタリング項目 (KPI 等)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 風力発電設備容量（連結）
再生可能燃料（Renewable Fuel）の提供	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SAF 供給プロセスの多角化／サプライチェーン構築 ・ バイオ ETBE 供給量：24 万 KL <p>【モニタリング項目 (KPI 等)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SAF 供給に向けた取組実績 ・ バイオ ETBE 供給量（連結）
従業員の活躍推進	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 従業員への教育投資額：年間 18 万円／人（2025 年度） ・ データ活用コア人材の育成人数：900 人以上（2025 年度） <p>【モニタリング項目 (KPI 等)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 従業員への教育投資額（当社及び中核事業会社（コスモ石油(株)、コスモ石油マーケティング(株)、コスモエネルギー開発(株)）
従業員のコンプライアンス意識の向上	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 従業員意識調査スコア <ul style="list-style-type: none"> ↳コンプライアンス教育：83%以上 ↳通報窓口の認知度：94%以上 ↳企業行動指針の理解：72%以上 ・ コンプライアンス違反件数：ゼロ件 <p>【モニタリング項目 (KPI 等)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 従業員意識調査スコア（連結） ・ コンプライアンス違反件数（連結）
女性の採用機会の推進	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 女性管理職比率：10%以上（2025 年度） ・ 新卒学卒女性採用比率：50%以上（第 7 次中計期：2023 年度～2025 年度） <p>【モニタリング項目 (KPI 等)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 女性管理職比率（連結） ・ 新卒学卒女性採用比率（連結）
従業員の健康への保持増進	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ストレスチェック受検率：95%以上 ・ 特定保健指導実施率：40%以上（2025 年度） ・ 健康生活習慣指数：61%（2025 年度）

	<p>【モニタリング項目 (KPI 等)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ストレスチェック受検率 (連結) ・ 特定保健指導実施率 (連結) ・ 健康生活習慣指数 (連結)
従業員のやりがい／生産性の改善	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 従業員意識調査「仕事のやりがい・誇り」のスコア：60ポイント以上 <p>【モニタリング項目 (KPI 等)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 従業員意識調査「仕事のやりがい・誇り」のスコア (当社及び中核事業会社 (コスモ石油(株)、コスモ石油マーケティング(株)、コスモエネルギー開発(株)))
労働災害の削減	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 重大労働災害件数：ゼロ件 ・ 重大事故件数：ゼロ件 <p>【モニタリング項目 (KPI 等)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 重大労働災害件数 (連結) ・ 重大事故件数 (連結)
労働時間の低減/ワークライフバランスの改善	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年休取得率：90%以上 (2025 年度) <p>【モニタリング項目 (KPI 等)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年休取得率 (連結)
製造拠点から排出される有害物質の削減	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境影響のある重大事故件数：ゼロ件 <p>【モニタリング項目 (KPI 等)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境影響のある重大事故件数 (連結)
生産拠点周辺の水域へ与える影響の改善	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コスモエネルギーグループ企業行動指針に基づいた、法規制／地域協定を遵守した適正処理・取水・排水 <ul style="list-style-type: none"> ┆ 環境負荷の最小化：排水の適正な処理 ┆ 水環境の保全：水の回収・再利用 <p>【モニタリング項目 (KPI 等)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 取水・排水・使用量 (連結) ・ 排水処理量 (連結) ・ 水質汚濁負荷量 (連結)
事業活動に伴う GHG の削減	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ GHG 排出量削減割合※3：2030 年度▲30%以上 (2013 年度比) ・ CO2 排出削減量 (Scope1・2) ※4：2030 年度▲30 万 t-

	<p>CO2e (2013 年度比)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ CO2 削減貢献量：2030 年▲170 万 t-CO2e (2030 年度) <p>※3 CO2 削減貢献量を含む ※4 CO2 削減貢献量を含まない</p> <p>【モニタリング項目 (KPI 等)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ GHG 排出量削減割合 (2013 年度比) (連結) ・ CO2 排出削減量 (Scope1・2) (2013 年度比) (連結) ・ CO2 削減貢献量 (連結)
事業活動により影響を受ける自然資本の保全	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 30by30 目標達成の貢献に向けて、生物多様性・自然資本の保全の取り組みの推進 <p>【モニタリング項目 (KPI 等)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 30by30 目標達成への貢献に向けた取組実績
事業における／販売した製品に由来する廃棄物の削減	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 最終処分率：0.3%以下 (第 7 次中計期：2023 年度～2025 年度) <p>【モニタリング項目 (KPI 等)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 最終処分率 (連結)

詳細は以下よりご確認ください。

三菱 UFJ 銀行リリース

<https://www.bk.mufg.jp/houjin/info/index.html>

JCR ウェブサイト

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance>

当社サステナビリティに関する取り組み

<https://www.cosmo-energy.co.jp/ja/sustainability.html>

※1 国連環境計画金融イニシアティブ (UNEP FI)：国連環境計画 (UNEP) と 200 以上の世界各地の金融機関による広範で緊密なパートナーシップであり、1992 年の設立以来、金融機関、政策・規制当局と協調し、経済的発展と ESG への配慮を統合した金融システムへの転換を進めている。

※2 ポジティブ・インパクト金融原則：UNEP FI が 2017 年 1 月に策定した、SDGs の達成に向けた金融の枠組み。企業が SDGs の達成への貢献を KPI で開示し、銀行はそのプラスの影響を評価して資金提供を行うことにより、資金提供先企業によるプラスの影響の増大、マイナスの影響の低減の努力を導くもの。

以上